

## 大原社会問題研究所五十年史

## III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

## 研究所出版物と栗田書店

研究所の出版物は従来すべて同人社がその発行をひきうけてきたが、同人社の経営は匿名組合として再出発した後も好転せず、ついには一九三二年末にいたり大島秀雄氏の投げ出しにより終止符を打たれたことはすでに記した。その後、小川春男氏により新同人社が経営されたが経営は依然として不調で、このため、一九三四(昭和九)年五月一五日の委員会で、雑誌、年鑑等研究所の出版物はすべて栗田書店より発行させることに決定した。(その後、年鑑は栗田に出版させ、雑誌は所の自費出版とし発行販売の事務を栗田に委託することに変更した)。栗田書店は、所の東京移転後も長く研究所出版物の発行を引きうけ、戦時中は「統計学古典選集」その他多数の図書を発行した。それらの事情についてはのちに記述する。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

---

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)

---